

のですから會社としてはあわて、争議の終熄を圖る必要は少しも
ありません。そして、屢々聲明した通り本争議の解決は善良なる
一般工員諸君が或る時期までに工場に復歸するに於て近道である
との確信を日々強めて居りますので静かに諸君の反省を待つて居る
のであります。

然し下ら、陽氣も漸々寒くなりますし、働きに因る収入も、七十日から
なれど諸君も御困りの事ぞせう。會社としても之は實際不本意
千萬ですけれども何共致し方ありません。

聞けば、この頃、諸君は所謂戦闘資金と稱する貯金をば、大分

諸君が争議團に参加して奮闘されて居ることは必ずしも悪いとは思
んが、それら争議の原因なり動機なりが公正で、四能業決行が一般組合員
の熱望する所なれば兎に角一般會員は余儀なく、泣くも勢力に引擧
て参加し當のいな事を頼みにして困厄を忍ぶつ、あることを思ふと見込のな
ストライキをこの上にも継続することは餘程考へものだと思はれます。諸君方の考
へが間違つたとは必ずしも申しませんが、狭い天地に閉ぢ籠つて自分ば
かりを土台として考へた事は、随分間違ひの多いのは世間によく見る例で
あります。

聞く處によると、野田購買組合は組合長青木源四郎氏
が、脱退して、その債権一切を他人に譲渡し、その人は組合の機械や品物の